

経営のヒント106 問題と問題点、そして課題

問題と問題点、そして課題。どこがどうちがうのか？

「問題」と「問題点」そして「課題」
皆さん、どこがどうちがうのか？
貴方は、説明出来ますか？

現代の経営では、「言葉の定義」が大切だと言われています。
何故か？

それは、人によって言葉の意味が違っていたら、コミュニケーションの前提が崩れるからです。
「コンセプチュアルスキル」言語概念化能力が、リーダーや上司、そして営業マンには必要です。
相手にいかにわかり易く、納得できるように説明できる能力です。

さて、問題と課題、どちらも聞き慣れた言葉であり、ビジネスでも頻繁に使われている言葉です。
しかし、この言葉を正しく使い分けしている人は意外と少ない。

問題とは「本来あるべき姿と現状とのギャップ」のことです

課題とは「そのギャップを解消するために何をすればいいか」ということである。

例えば売上不振に苦しむスーパーが販促キャンペーンを行うとすると、問題は「売上不振」であり、課題は「販促キャンペーン」になります。

自分一人で考えている時も頭の中でこの2つの言葉を使い分ける必要があり、又会議などでも使い分けを徹底することによって、議論が深まることになります。

例えば、問題を掘り下げる議論をしているときに、突然誰かが課題を発言すると、真の問題が明らかにならないまま、議論の中心が具体的な課題設定に変わってしまうことになります。

問題と課題の違いについては、全社員に正確に理解させる必要があります。

ビジネスにとって一番重要なことは、思考力です。

しかし人間は考えているようで、考えていなく、ただ悩んでいるだけです。

つまり、ワンパターン思考になっているか、思考の迷宮に迷うことが多くあります。

思考を深めるには・・・

自分の思考を「チェックする自分」を登場させることが重要です！

複雑な問題を考えていると頭の中で堂どう巡りが始まり、そもそも何のためにその問題を考え始めたのかわからなくなり、問題と課題が混同したり、当初の目的を見失うことが多くあります。
そこで、思考している自分とは別の自分を登場させ、その思考が目的に沿ったものかどうかを客観的にチェックする習慣を身に付けると効果的です。

頭の回転が速い人は「思考する自分」と「チェックする自分」を見事に使い分けています。

(次回に続く・・・)

<経営のヒント>

「メタ思考」・・・自分の思考プロセスを客観的にチェックすること

メタ思考を習慣化することで、ムダなく必要な結論を導き出すことができる！

個人レベルだけでなく、社員全員がそのプロセスを身に付けることによって、効果的かつ効率的な会議運営や問題解決の仕組みを構築することができます。

「問題」と「課題」・・・全員がしっかりと使い分るような「仕組み」を構築しよう！